

会社概要のご紹介

セイコーエプソン株式会社

© Copyright Seiko Epson Corporation 2010



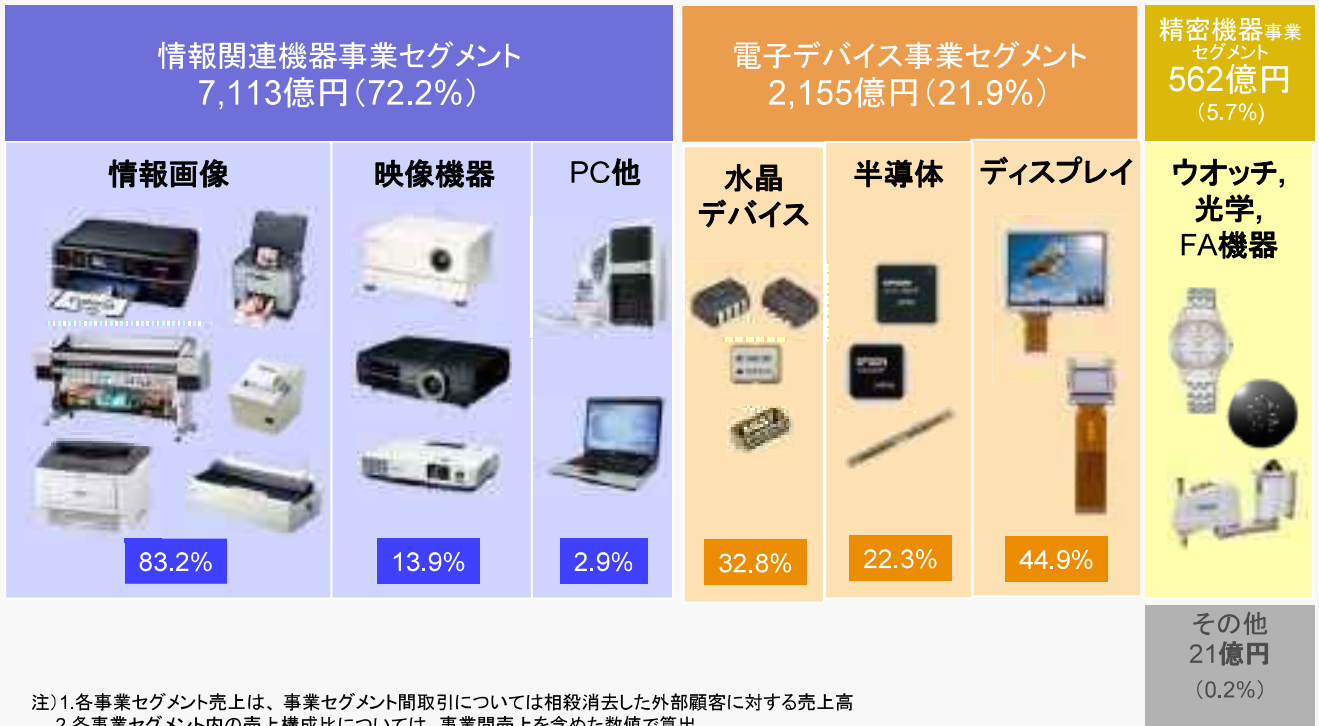
会社概要

| | | |
|--------|------------------------------------|---|
| 社名 | ■ セイコーエプソン株式会社 |  <p>本社</p> |
| 会長 | ■ 花岡 清二 | |
| 社長 | ■ 碓井 稔 | |
| 本社所在地 | ■ 長野県諏訪市 | |
| 創業 | ■ 1942年 | |
| 資本金 | ■ 532億400万円 | |
| 売上高 | ■ 9,853億円(2010年3月期/連結) | |
| 営業利益 | ■ 182億円(2010年3月期/連結) | |
| グループ会社 | ■ 106社*(国内26社・海外80社/2010年3月末) | |
| 従業員 | ■ 単体:13,502人 連結:77,936人(海外55,334人) | |

*当社を含む (2010年3月末現在)

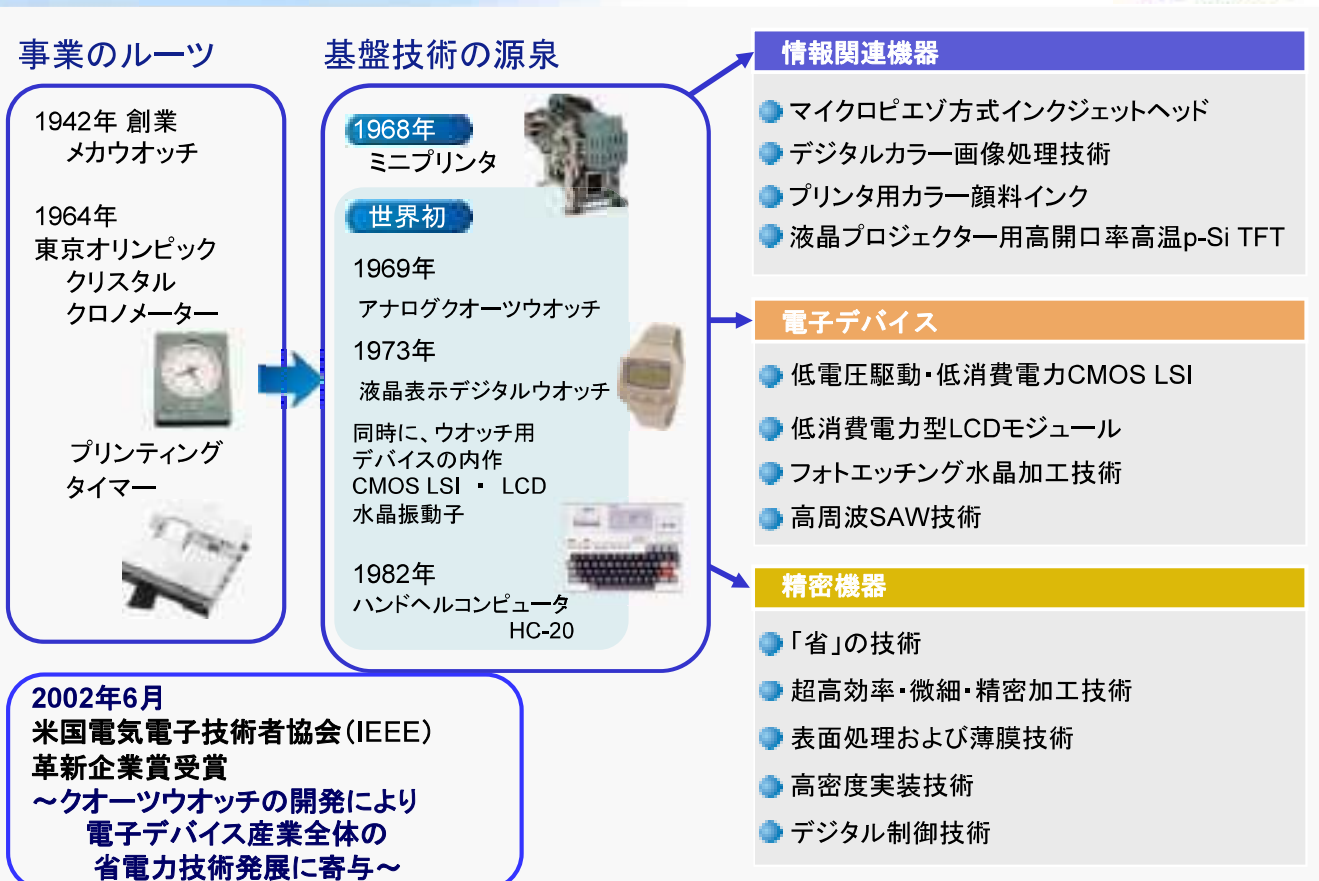
2010年3月期連結売上高：9,853億円

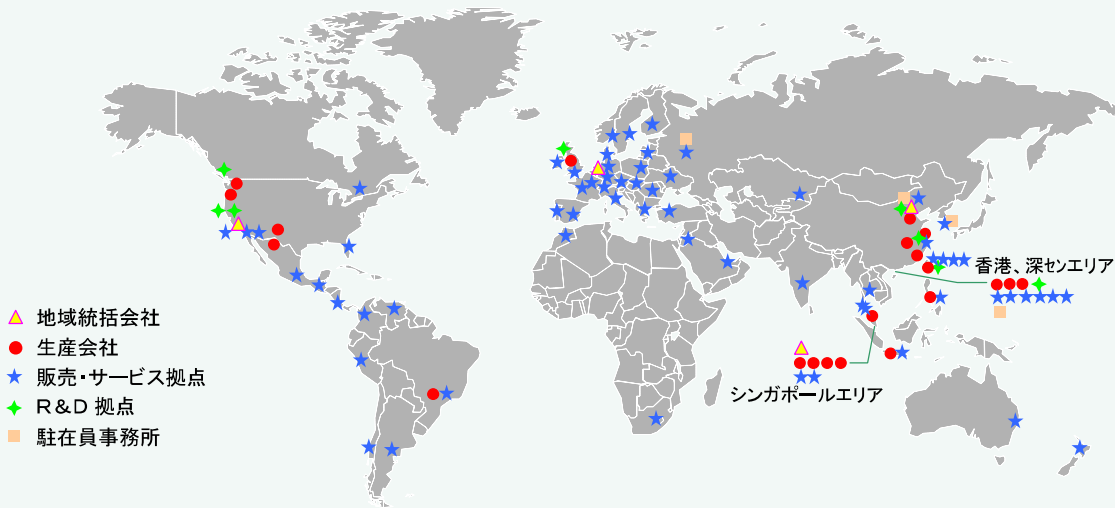
(単位：億円, 切り捨て)



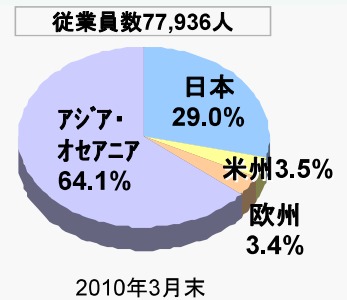
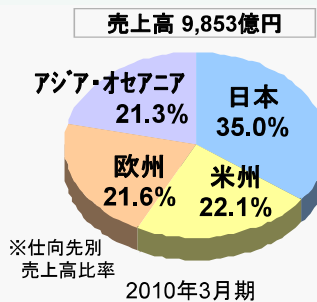
注) 1.各事業セグメント売上は、事業セグメント間取引については相殺消去した外部顧客に対する売上高
 2.各事業セグメント内の売上構成比については、事業間売上を含めた数値で算出

技術基盤(省・小・精の技術)





- 効率的なグローバル生産体制
 - ・マーケットへのリードタイム短縮
 - ・コスト競争力
 - ・為替リスク対応
- エリア毎に最適・強力な販売体制
- グローバル適地R&D体制

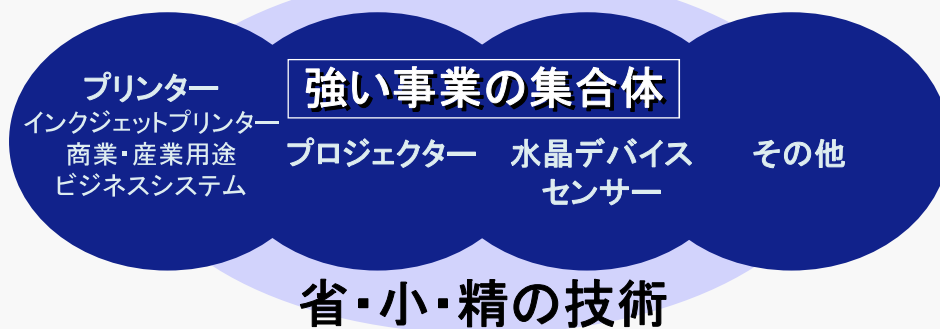


エプソンは、省・小・精の技術を究め極めて、
 プラットフォーム化し、強い事業の集合体となり、
 世界中のあらゆるお客様に感動していただける
 製品・サービスを創り、作り、お届けする

- 2009年度 ブレークイーブンをめざす/
長期ビジョンの布石となる事業基盤再構築
- 2010年度 確実に利益が確保できる企業体質の定着
- 2011年度 長期ビジョン実現に向けた新たな成長軌道の確立

事業基盤
再構築

2015年度: ROS:10%、ROE:継続的に10%以上



成長性の高い事業へ経営資源を集中

プリンター

マイクロピエゾテクノロジーを核に、コンシューマー、ビジネスに加え、エマージング市場、商業・産業用途分野を強化



プロジェクター

強いキーデバイスHTPSを内製している強みを活かす

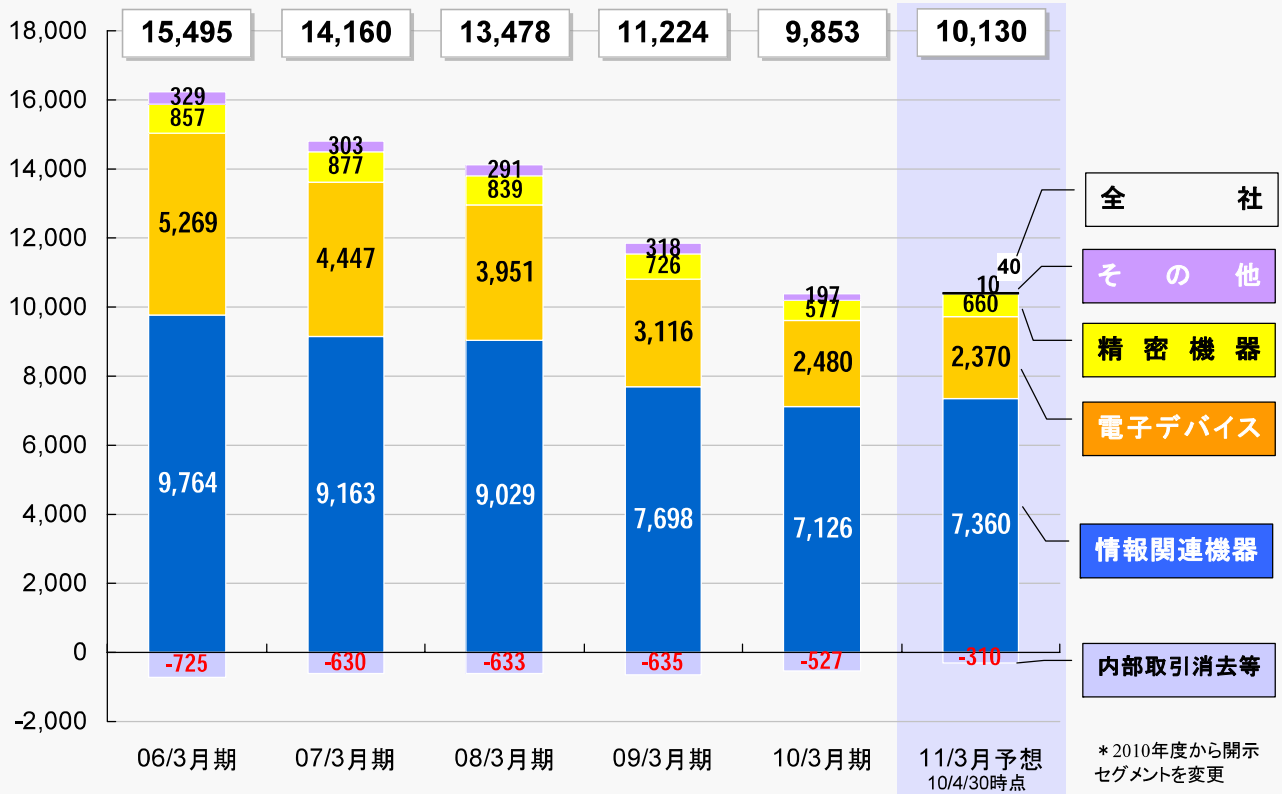


水晶デバイス・センサー

水晶デバイスと半導体技術の連携強化
モジュールシステムなど、センサービジネスへ取り組む

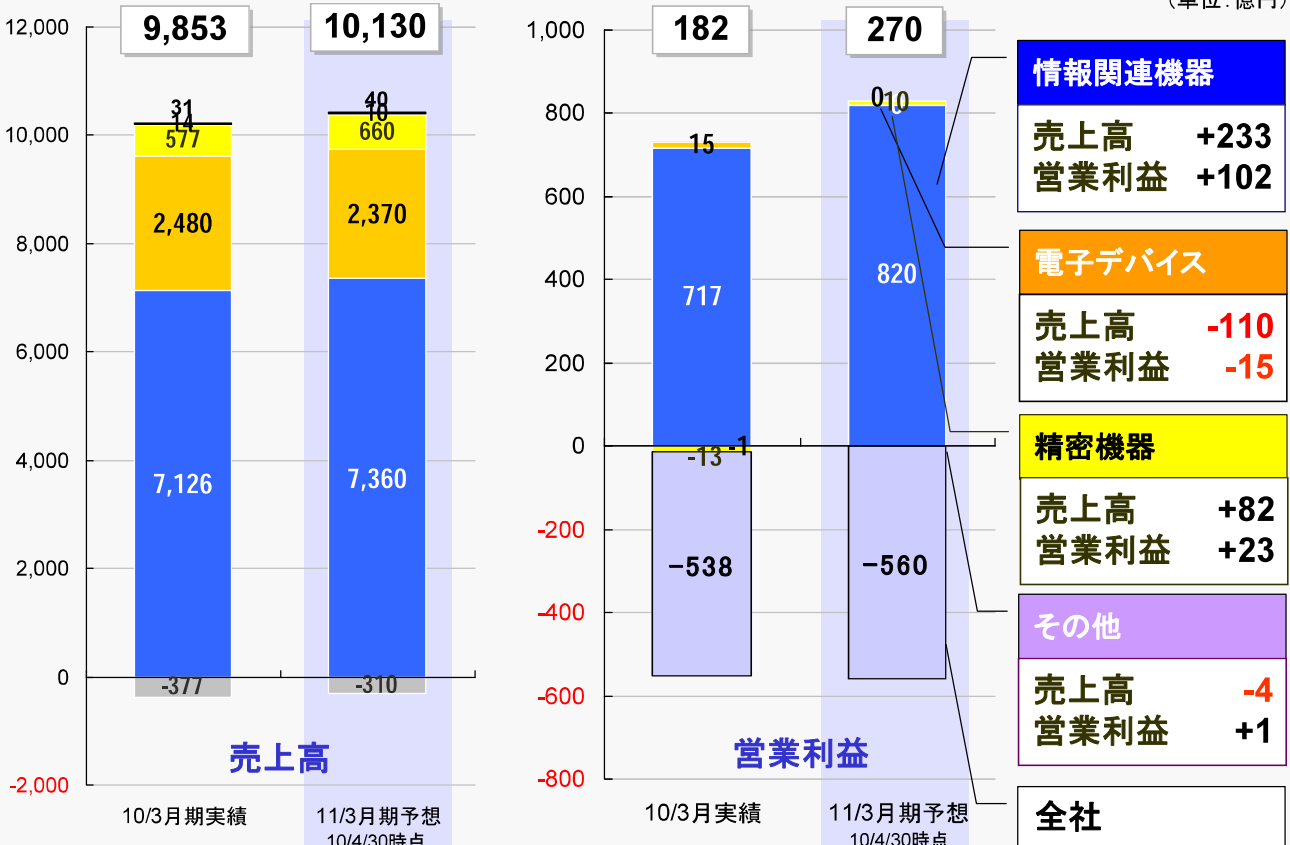


(単位: 億円; 切り捨て)



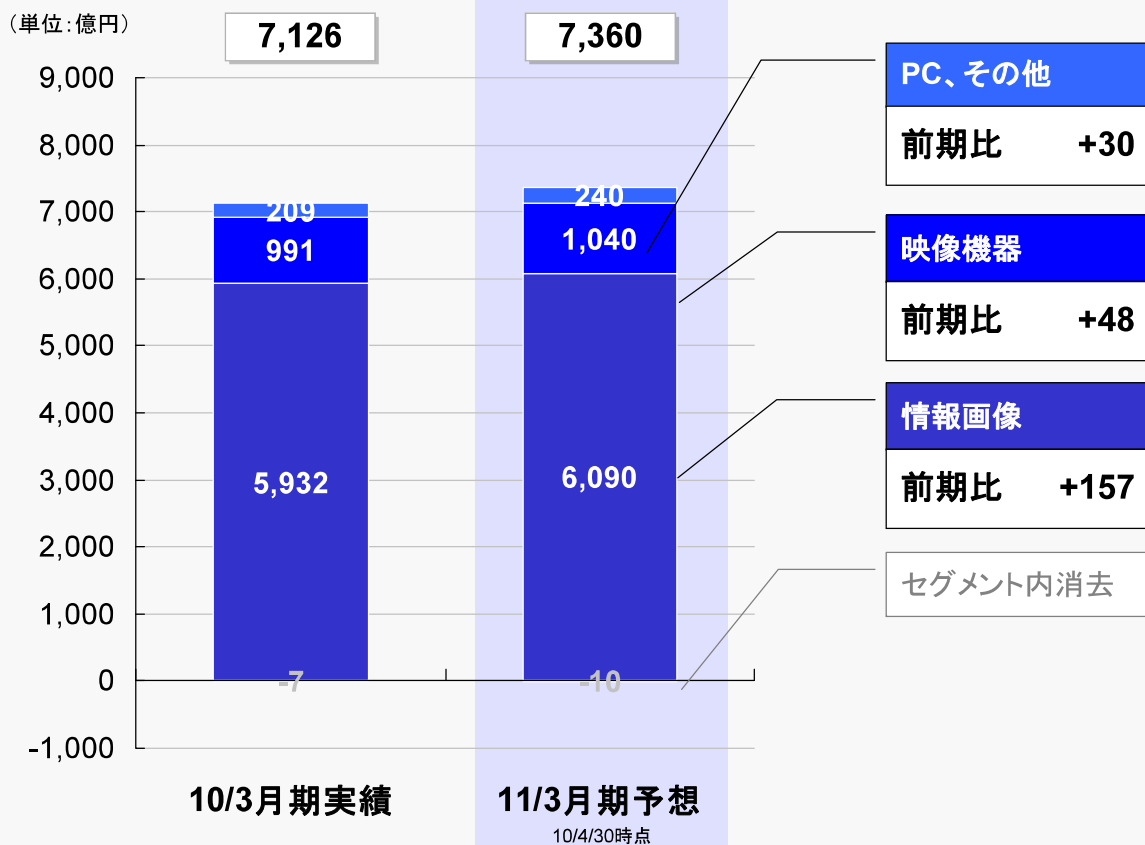
2010年度業績予想 前年比(事業セグメント別)

(単位: 億円)

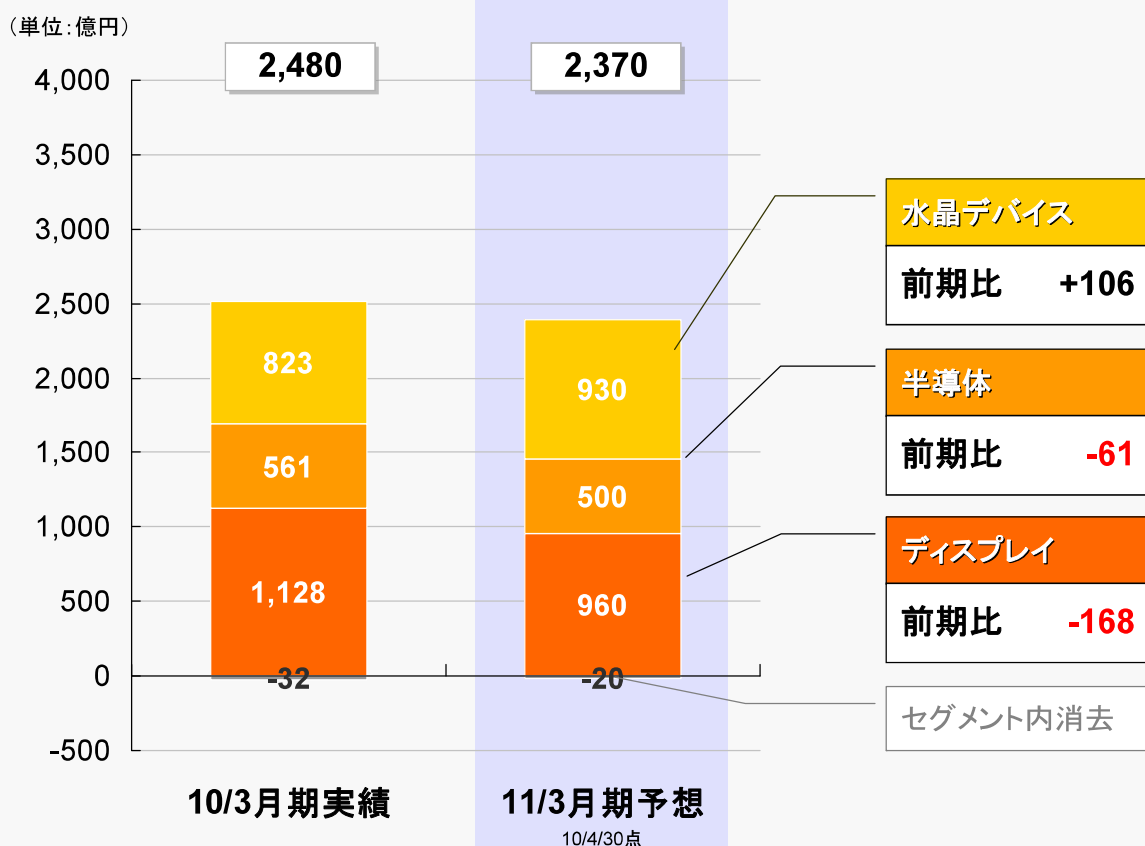


* 2010年度から開示セグメントを変更し、前年度を比較対照とするため、2009年度の値を補正しています。

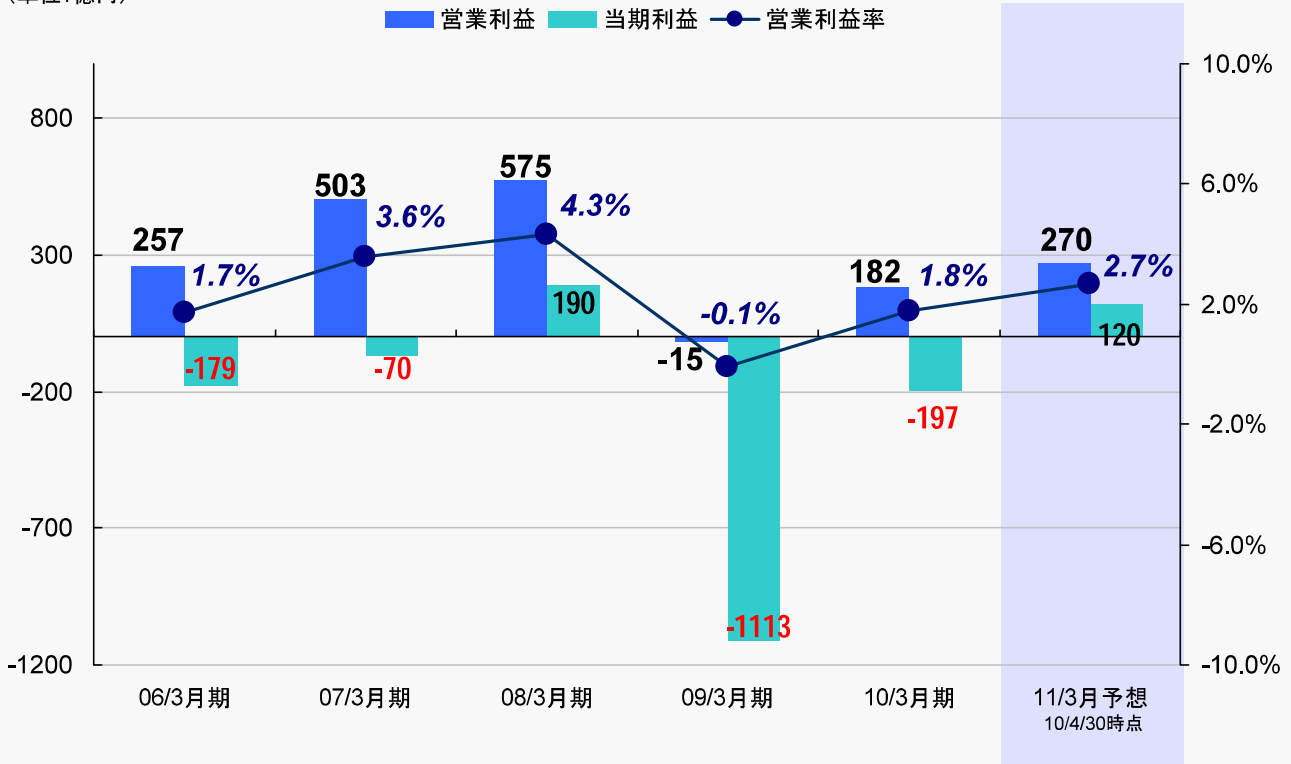
事業別売上高予想 情報関連機器セグメント



事業別売上高予想 電子デバイスセグメント



(単位: 億円)



経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに
発展する開かれた会社でありたい。

そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを
誇りとしたい。

“Exceed Your Vision”

お客様の期待や想い(Vision)を超える(Exceed)こと。
 お客様に驚きや感動をもたらすこと。
 私たちは、彩りある豊かな生活を創造する
 商品・サービスを提供しつづけます。



環境保全活動

環境ビジョン2050

エプソンは、地球の環境負荷許容量を認識し、世界の誰もがその許容量を等しく分けあうものと考え、2050年に向けて“商品とサービス”のライフサイクルにわたるCO2排出を10分の1にすることを目指します。あわせて、生態系の一員として、地域社会とともに生物多様性の修復と保全を行います。



*バックキャストिंग:あるべき姿、ありたい姿としてのビジョンをまず描き、次にそこへ至るためのシナリオを検討する手法。

文化・芸術、環境保全、青少年教育支援により、
世界の人々の豊かで彩りある暮らしの創造に貢献。

